

# 未来技術社会実装事業について

令和6年3月18日  
内閣府 地方創生推進事務局



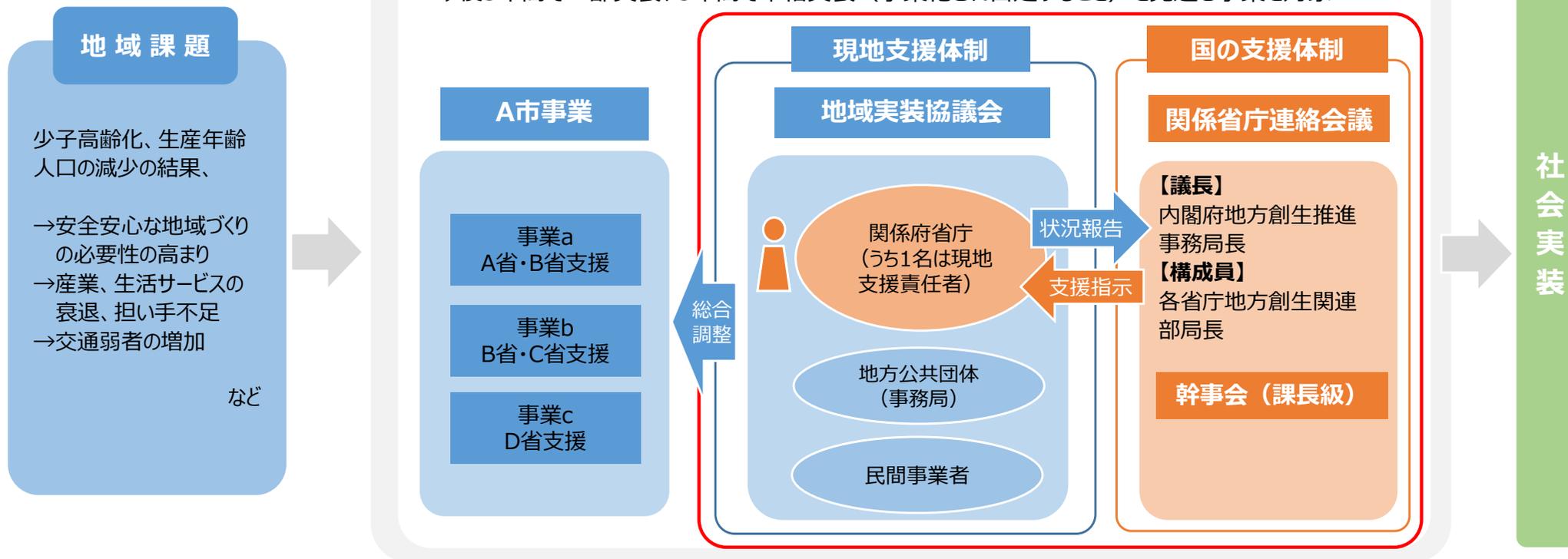
## 概要

- 未来技術社会実装事業は、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」におけるモデル地域ビジョンにて、先導的なスマートシティの創出を目指すための関連施策の1つとして位置づけられています。
- 事業の概要としては、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した地域課題の解決と地方創生を目指し、革新的で先導性と横展開可能性等に優れた地方公共団体の取組に対して、未来技術の**社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築し、関係府省庁による総合的な支援を行う事業です。**
- 未来技術を活用した地方創生に関する提案を地方公共団体から募集し、H30年度からR5年度までに合計55事業を選定。**選定から5年で社会実装を目指し複数年にわたる伴走型支援を行います。R5年10月時点で33事業※に対して支援を実施中です。**

※ H30年度からR4年度までの選定合計53事業のうち22事業はR4年度末までに支援終了。

## 事業イメージ

- 未来技術を活用して地域課題の解決と地方創生を目指す取組を支援
- 提案された各事業をパッケージ化し、複数の関係府省庁を交えた地域実装協議会にて総合的支援
- 今後3年間で一部実装、5年間で本格実装（事業化され自走すること）を見込む事業を対象



支援継続中 33団体

R1選定

R2選定

R3選定

R4選定

R5選定

支援終了 22団体

終了

R5.10時点

### 北海道・東北地方

④仙北市	①旭川市	③陸前高田市
②盛岡市	⑤須賀川市	
北海道・岩見沢市・更別村		仙台市

### 中国・四国地方

②⑧福山市	②⑨宇部市
広島県	鳥取県
美郷町	四万十市

### 関東地方

⑦栃木県	⑩秩父市	⑪和光市
⑧前橋市	⑨さいたま市	
⑥常陸太田市		
茨城県・つくば市		川口市
千葉市	潮来市	

### 北陸・中部地方

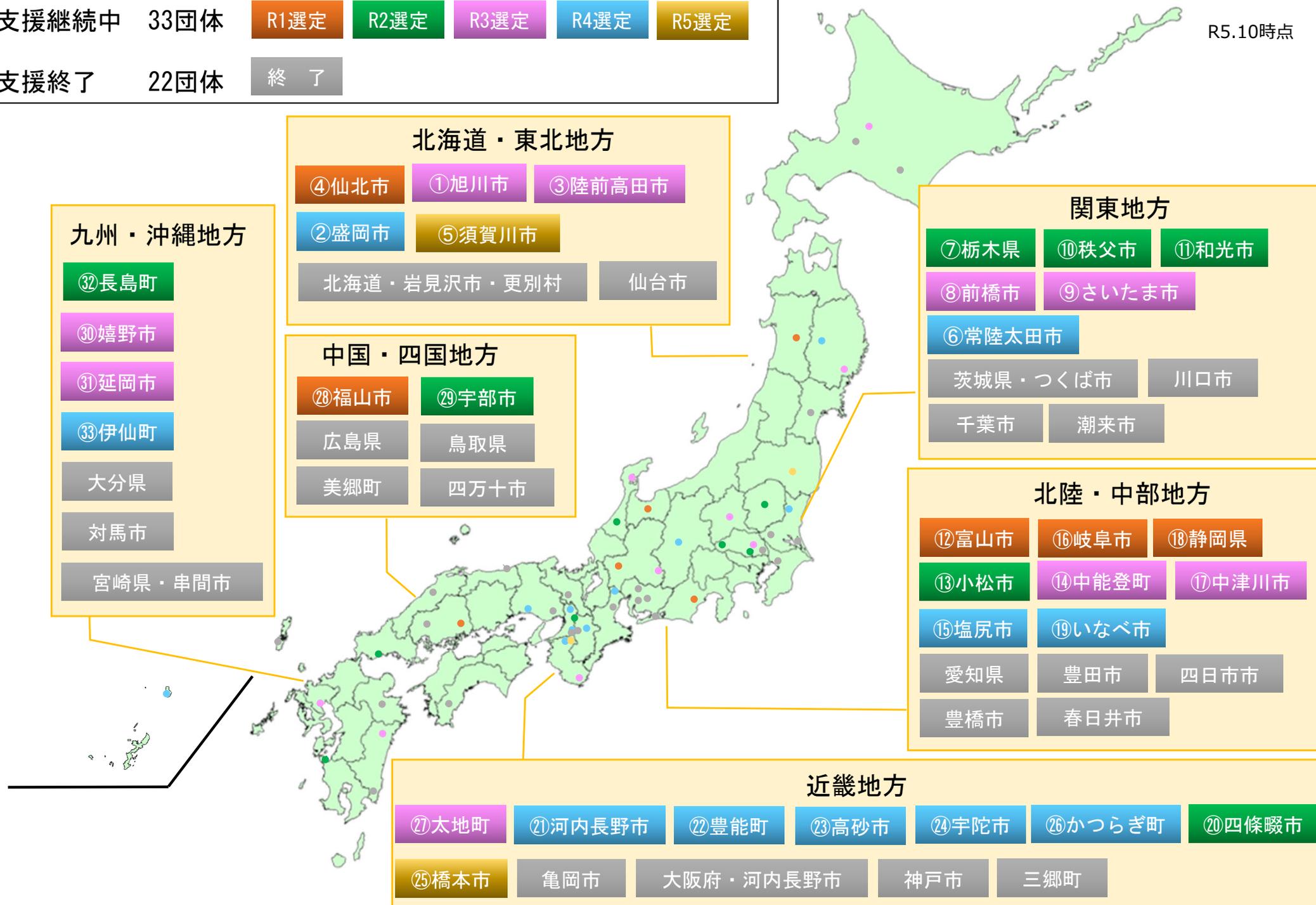
⑫富山市	⑬岐阜市	⑭静岡県
⑬小松市	⑮中能登町	⑯中津川市
⑮塩尻市	⑰いなべ市	
愛知県	豊田市	四日市市
豊橋市	春日井市	

### 近畿地方

⑲太地町	⑲河内長野市	⑲豊能町	⑲高砂市	⑲宇陀市	⑲かつらぎ町	⑲四條畷市
⑲橋本市	亀岡市	大阪府・河内長野市	神戸市	三郷町		

### 九州・沖縄地方

⑳長島町
㉑嬉野市
㉒延岡市
㉓伊仙町
大分県
対馬市
宮崎県・串間市



※No.は事業一覧地図上のもの

	提案者	主な活用技術	No.
令和元年度選定 5事業	秋田県仙北市	自動運転、ドローン	4
	富山県富山市	AI、IoT	12
	岐阜県岐阜市	自動運転	16
	静岡県	AI、IoT、自動運転	18
	広島県福山市	自動運転、ドローン、ドローン	28
令和2年度選定 7事業	栃木県	AI、IoT、5G、自動運転、ドローン	7
	埼玉県秩父市	IoT、自動運転、ドローン等	10
	埼玉県和光市	自動運転 等	11
	石川県小松市	自動運転 等	13
	大阪府四條畷市	AI、IoT、自動運転 等	20
	山口県宇部市	AI、IoT、VR/AR 等	29
	鹿児島県長島町	IoT、ドローン、VR/AR 等	32
令和3年度選定 9事業	北海道旭川市	AI、IoT、ドローン、ドローン等	1
	岩手県陸前高田市	自動運転	3
	群馬県前橋市	ドローン、ドローン	8
	埼玉県さいたま市	AI、IoT	9
	石川県中能登町	AI、IoT、ドローン、ドローン	14
	岐阜県中津川市	自動運転、VR/AR	17
	和歌山県太地町	AI、自動運転、ドローン	27
	佐賀県嬉野市	AI、IoT、自動運転、VR/AR 等	30
	宮崎県延岡市	AI、自動運転、ドローン	31

	提案者	主な活用技術	No.
令和4年度選定 10事業	岩手県盛岡市	AI、IoT、5G、ドローン等	2
	茨城県常陸太田市	自動運転、ドローン等	6
	長野県塩尻市	AI、IoT、自動運転 等	15
	三重県いなべ市	AI、IoT、ドローン等	19
	大阪府河内長野市	AI、IoT、5G、ドローン等	21
	大阪府豊能町	AI、IoT、5G、ドローン等	22
	兵庫県高砂市	AI、IoT、ドローン等	23
	奈良県宇陀市	自動運転	24
	和歌山県かつらぎ町	AI、IoT、ドローン 等	26
	鹿児島県伊仙町	AI、IoT、自動運転 等	33
令和5年度選定 2事業	福島県須賀川市	自動運転	5
	和歌山県橋本市	AI、自動運転、ドローン 等	25

	提案者	主な活用技術
支援期間満了事業 22事業	茨城県、つくば市	自動運転、ドローン
	埼玉県川口市	自動運転
	愛知県	自動運転、ドローン、ドローン
	愛知県豊田市	AI
	京都府亀岡市	自動運転、ドローン
	北海道、岩見沢市、更別村	自動運転、ドローン、ドローン
	宮城県仙台市	ドローン
	千葉県千葉市	自動運転、ドローン
	愛知県豊橋市	AI
	愛知県春日井市	自動運転
	大阪府、河内長野市	自動運転
	兵庫県神戸市	自動運転
	鳥取県	AI、IoT
	大分県	ドローン
	三重県四日市市	AI、IoT
	広島県	自動運転、ドローン、ドローン等
	宮崎県、串間市	自動運転、ドローン
	茨城県潮来市	自動運転 等
	奈良県三郷町	自動運転 等
	島根県美郷町	AI、ドローン、ドローン
	高知県四万十市	自動運転
	長崎県対馬市	AI、IoT、自動運転 等

大阪府、河内長野市

## 少子高齢化社会における自動運転技術を活用した 新たな移動サービスの創出と健康寿命の延伸

自動運転

### 地域課題・目指す将来像

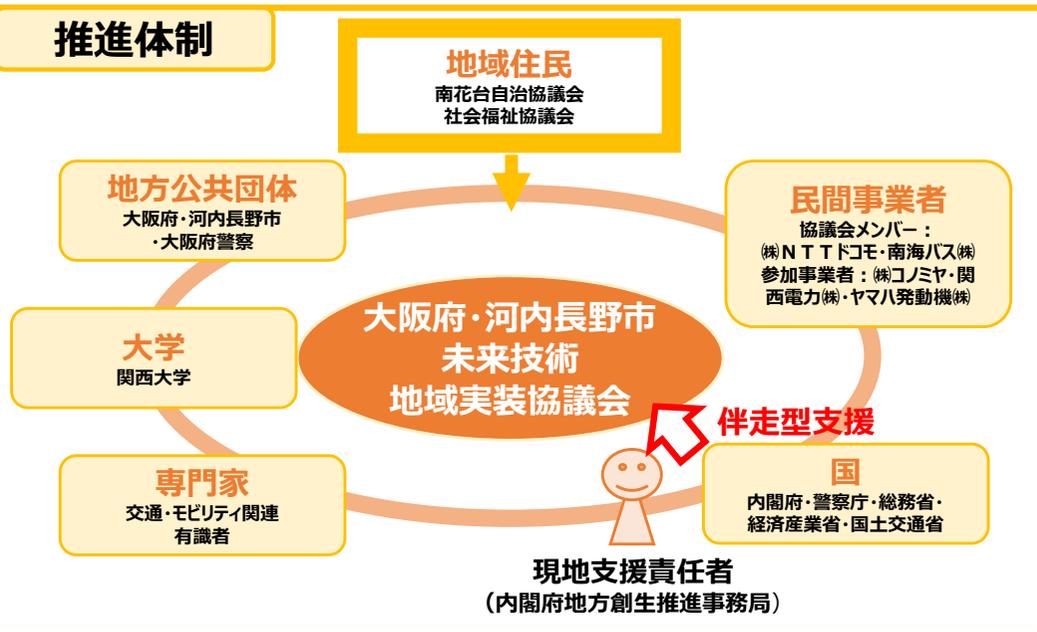
地域課題

- 大阪府における少子高齢化や高齢者の交通事故増加に対応した利  
用しやすい公共交通の構築
- 外出機会の拡大による高齢者の健康増進（大阪府の健康寿命：男  
性71.50年（全国39位）女性74.46年（全国34位）（2016  
年））

将来像

- 全国を上回るスピードで少子高齢が進展する大阪において、2025  
大阪・関西万博に向け、自動運転技術を活用した移動サービスの実  
現等により、誰もが健康でいきいきと活躍できる社会（「いのち  
輝く未来社会」）の実現をめざす

### 推進体制



### 課題解決に向けた取組

（写真：河内長野市提供）

### 自動運転技術やオンデマンド運行システム等を活用した 新たな移動サービスの実現

→ニュータウンにおけるラストワンマイルのモデルケースをめざし、  
グリーンスローモビリティを活用した地域住民主体の自動運転実装

- グリーンスローモビリティ（以下、GSM）を活用したオンデマンド運行等の  
実証実験およびニーズ等検証を実施。また、予約・運行管理に関するアプ  
リ開発を行い、実証実験にて検証
- 電磁誘導線方式を活用した自動運転走行の公道での実証実験を実施。  
市町村運営有償運送制度を活用した運営手法等についても検証
- 電磁誘導線方式による定時定ルートでの自動運転と、手動によるオンデマンド  
運行を併用しながら地域の課題解決を図る

使用車両（GSM）



2020年10月からの運行再開にあたり、ビニールカーテンによる飛沫飛散防止や、乗車人数制限など、感染防止対策を徹底

### 2022年度の 主な取組

- GSMを活用したオンデマンド運行等の実証実験の継続・拡大
- 有償化の実証実験結果に基づき、運営手法等検証
- 自動運転の一般運行を継続・ダイヤ拡大・有償化、自動運転のルート追加・増便
- 他地域への事業展開を検証

## ① 石川県小松市

### 駅-空港間シャトル 自動運転レベル2による定常運行

- 小松駅と小松空港間において、**自動運転バス**による、**通年・有料**での運行が令和6年3月9日よりスタート。



自動運転車両



自動運転システム表示画面



自動運転出発セレモニー

### 地域実装協議会の構成



#### ※国側構成員

警察庁交通局、国交省北陸信越運輸局、総務省北陸総合通信局、国交省北陸地方整備局金沢河川国道事務所（現地支援責任者）

## ② 和歌山県太地町

### レベル2の自動運転カートの本格導入

- 町役場、スーパー、集会所、病院などを周回する**自動運転**サービスが令和4年11月よりスタート。
- 自動運転添乗員は地域の**高齢者の見守り**の役割も担う。



自動運転車両



狭隘箇所を走行している様子

### 地域実装協議会の構成



#### ※国側構成員

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、警察庁交通局、総務省近畿総合通信局、厚生労働省近畿厚生局、水産庁、経済産業省近畿経済産業局、国交省近畿運輸局、国交省航空局、国交省近畿地方整備局紀南河川国道事務所（現地支援責任者）

## 1 各選定団体における取組状況の共有

- 各選定団体の取組状況について、概要資料を作成、更新し情報共有を実施。
- また、3年目及び5年目においては、取組状況の概要に加え、事業推進にあたり苦労した点や、工夫した点、担当者の声等をまとめた「取りまとめ報告書」による情報共有も実施。

(内閣府HP : <https://www.chisou.go.jp/tiiki/kinmirai/index.html>)

## 2 シンポジウム・ミニシンポジウムの開催 頻度：年2～3回程度

- 先進事例の見学や有識者の基調講演、意見交換会等を通じ、未来技術社会実装のための知識の共有を図るとともに、選定団体同士の交流機会を設けます。

令和5年度は、石川県小松市にて開催しました。

(内閣府HP : [https://www.chisou.go.jp/tiiki/toshisaisei/mini\\_symposium/20231109/index.html](https://www.chisou.go.jp/tiiki/toshisaisei/mini_symposium/20231109/index.html))

- ミニシンポジウム（オンライン開催）については、第1回を8月に開催し、第2回は2月に開催しました。

## 3 メールマガジンの配信 配信時期：月2回

- 法改正や審議会等の国の最新動向（月1回）
- 国内外の最新事例（2か月に1回）
- 選定団体の直近の取組成果（2か月に1回）

## その他の支援実績

- 令和5年度は「デジタル田園都市国家構想交付金」の活用を検討する団体を対象に、オンラインでの事前相談の機会を設けました。
- 各府省庁の補助金情報を取りまとめ、年度末に選定団体へ周知しました。

(個票)



(取りまとめ報告書)



(交流会の様子)



(シンポジウムのチラシ)



(国の最新動向)



(国内外の最新事例)



**募集する提案の対象**※提案者は「都道府県or市区町村」。共同提案も可

次の(1)~(4)に該当する事業を対象とする。

- (1) **未来技術を活用し、地域課題を解決する（地方創生に寄与する）事業であること。**
- (2) **(ア) 新規性、先進性があり、かつ、(イ) 将来の横展開・本格普及にふさわしい事業であり、具体的には以下のア及びイの要件に該当する事業であること。**
  - ア 次の①又は②の技術の実装に関する事業であること。
    - ① 以下のいずれかに当てはまる未来技術
      - ・ AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング、ビッグデータ
      - ・ 自動運転
      - ・ ロボット（ドローン含む）、VR/AR
      - ・ キャッシュレス・ブロックチェーン
    - ② 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）等の研究開発成果を活用する技術
  - イ 多くの地域に共通する地域課題の解決を目指す取組や技術的に他地域への普及が可能な取組等で、取組の成果が他の地域へ広がる蓋然性が認められる事業であること。
- (3) **今後3年間（令和8年度まで）で実装（一部でも可）が見込まれ、5年間（令和10年度まで）で本格実装される（事業化され自走する）事業であること。**
- (4) **省庁横断的な支援を必要とする事業であること。**

※本事業による財政面の措置はなく、実証実験等に対する費用について、デジタル田園都市国家構想交付金等の各種交付金、補助金等の活用を想定している。

**スケジュール** ※年度によって時期は前後します。

4月上旬	公募開始
5月中旬	公募〆切
6月中旬	スマートシティ合同審査実施
6月下旬	選定結果の公表

**お問い合わせ先**

内閣府地方創生推進事務局 未来技術実装担当  
電話：03-6206-6175

**※上記、募集に関する情報は本日時点での予定です。  
3~4月頃にお知らせする募集要領をご確認ください。**